



# 週刊京都経済

http://www.kyoto-keizai.co.jp/

日刊京都経済改題

The Kyoto Economic Journal

発行所: ©京都経済新聞社

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町1  
京都リサーチパーク4号館  
TEL:075-316-1000



歩いて楽しい街づくりとは何か。浪士ゆかりの道を実際に歩き、問題を検証する。(7面)



廃アパートがカフェに変身。鴨川を望む、心地よさを追求したアート空間「efish」に。(4面)



宇宙旅行も夢じゃない?! 米スペースアドベンチャー社企画の「スペースツアー」が21世紀には実現予定。(5面)

## 創刊3周年を迎えました

ご愛読ありがとうございます

「週刊京都経済」は1997年12月1日に「日刊京都経済」として生まれて以来、今号で創刊3周年を迎えました。読者の皆さん、取材に応じていただいた皆さん、新聞の印刷や発送に携わっていただいている皆さん——すべての皆さんに心から感謝申し上げます。

おかげさまで本紙は、京都の経済報道機関として最大の取材体制を実現できるようになりました。「中堂寺エリア」(京都リサーチパークを中心とする地域)で起こっている“ベンチャー革命”の動きを中心に、世界の中の京都経済を報道していきます。

まもなく訪れる21世紀には、100億人を目指して増え続ける人口問題をはじめ、困難な問題に地球規模の視野で立ち向かわなければならぬと思われれます。もはや「国」という単位では物事の解決が難しい時代です。

だからこそ私たちは、地域に根ざした視点から具体的に物事に取り組んでいく姿勢が何より必要だと考えます。地域経済報道の役割がますます高まる時代に入りつつあると自負しています。

今後紙齢を重ねても、京都を起点に世界を考えるという私たちの報道スタンスは一貫して変わりません。引き続きご愛読をよろしくお願いします。

編集長敬白

### お断り

本紙はこれまで、地域名としての「京都リサーチパーク」と運営会社としての「京都リサーチパーク株式会社」とともに「KRP」と略して表記してきましたが、今後混乱を避けるため、地域名は「KRP」、会社名は「KRP会社」とそれぞれ略記することにしました。なお、地域名としては伝統的な「中堂寺」も使用します。ご了解下さい。

# 人間型ロボットを商品化

## 学研都市のATR 世界初、心理面重視・自然な反応

国際情報通信技術基礎研究所(ATR、相楽郡精華町光台、三浦一郎社長)の研究開発部門であるエイ・ティ・アール知能映像通信研究所(ATR-MIC、中津良平社長)は、同社が開発した人間型ロボットを商品化する方針を固めた。まずは大学などでの研究用途に販売するが、将来はオフィスの案内役や警備役、高齢者や身障者の介護・介助役などの用途を開発していく計画だ。人間型ロボットは最近本田技研工業とソニーが相次いで商品化を表明しているが、心理面で人間性に重点を置いたロボットを商品化するのはATRが世界でも初めてと見られる。

(8面に中津氏インタビュー)

### 高齢者介護向けなどに用途

同社は人間のコミュニケーションに関する研究の延長線上で人間的な表現能力や反応機能を持つロボットの開発を2年前から進めていた。ロボットの商品化について近く組織内で正式に決定し、12月中旬に発表する。

同社が第1号として商品化するのは「Robovie」(ロボビー)と呼ばれる人間型ロボット。人間を見ると近寄って抱きついたり、「チューして」と語りかけたりするなど、人間の子どもの動作や反応をロボットの的に再現することに成功している。

京都大学大学院情報学研究所の石黒浩助教授らのスタッフと共同で2年前から研究を進め、現在2体目を実験に使用している。

具体的には、4つの自由度(曲げや回転などの軸の数)を持つ腕や3つの自由度の首、2つの視覚センサー、ほぼ全身を覆う触覚センサーなどを備えている。本田技研などのロボットが二本足によるスムーズな歩行や動作に重点を置いているのに対し、ロボビーは車輪型の移動台車を利用してコストを下げている。

同社によると、これまでに京阪神と

首都圏の大学から同ロボット2体の引き合いがあり、成約に向けて価格交渉中という。

同社は明らかにしていないが、本田

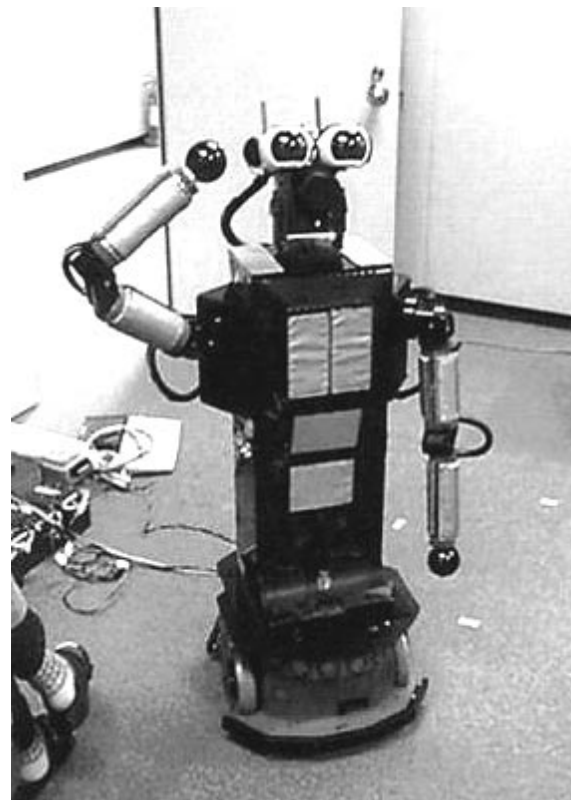
技研などが想定しているといわれる一体100万円よりも安い価格になるとみられる。

また、“主人”の動作に単純に反応するリラクソロボットなどの開発も進めており、順調に市場開発が進めば

商品化していく方針だ。当面は研究機関を対象にした営業に力を入れるが、将来は人間の介護に応用することを具体的に考えていく方針。そのために独自のマーケティング体制を構築することも検討している。



ATR 知能映像通信研究所が開発したロボビー(上、右)  
(同社ホームページより)



## 座標軸 オンライン市場をヤミ市にしないために

国のIT戦略会議が先週、「基本戦略」をまとめた。「政府は“IT軍拡競争”で負けたことを率直に認めた。そしてさらに軍拡に乗り出すことを宣言した」という内容だった。実はこの背景にあるのは、「韓国に負けた」(大蔵省幹部)という官僚の屈折した屈辱感だという。先頃来洛したこの幹部は、「日本がぼんやりしているうちに韓国は一気に情報化を成し遂げてしまった」と吐き出した。ずっと日本の後を追ってきたと思っていた韓国。ところが、日本が米国のあとを必死で追いかけている間

に、いつのまにか先に進んでいる。しかし冷静に考えてみれば、韓国のIT革命進行は当然の帰結だ。韓国は80年代後半、東アジア諸国の中で最初に民主的な直接選挙による大統領を選んだ。それ以来、国民の政治的な当事者意識は極めて高い。さらに90年代半ばには経済危機を乗り越える中で、IMF(国際通貨基金)の直接管理を甘んじて受け入れ、非効率な財閥解体を積極的に進めた。その過程で財閥に囲い込まれていた優秀な人材が流動化し、現在の起業ブームの苗床になった。

並行して、光ファイバーによる高速通信網整備をせずに、既存の電話網をソフトウェア的に高速化する「ADSL」という技術を全面的に採用、一気にインターネット通信の高速化と一般普及を成し遂げた。膨大な資金と時間をかけて新幹線を敷くことをせず、在来線の拡幅で対応したのだ。このように高まったベンチャー精神を父に、整備された通信インフラを母に、韓国人はIT革命を生き抜き始めたのだろう。ひるがえって日本。IT基本戦略では「5年以内に超高速

インターネット通信網を全国に張り巡らせる」「そのために、原則として一切の規制を撤廃する」というところが、そうした“新幹線”を使う側の人材づくりについては、申し訳程度に「デジタルクリエイターの育成を図る」と付け加えられたに過ぎない。このままでは膨大な容量を持つ通信網が無用の長物になるのではない。あるいは、電子商取引といってもヤミ商品ばかり扱われる無法地帯になってしまうのではない。そういう危機感が募る「戦略」だ。(本紙編集長・築地達郎)

# 中堂寺村通信

## セミナー拝見

### IT活用で、中小企業の活性を

11月28日 講演会「企業戦略に活かせる ITはこれだけある！」

ITが企業活動にどのような影響を与えるかを理解し、中小企業が無駄のないIT技術を企業経営に取り入れることを目的に、導入計画の策定をサポートする講演会が28日、京都府中小企業総合センターで開かれた。同セミナー終了後には関西情報技術士会会員による個別相談会もあわせて行われた。

講演では日本IBMでハード・ソフト両面にわたる情報工学を研究し、現在は竹野内情報工学研究所所長の竹野内勝次氏が、中小企業へのIT導入の重要性を説明した。中小企業の経営者などの70人にもわたる参加者が真剣な表情で耳を傾けた。

本講演を主催した京都府中小企業総合センターの茶畑保夫部長に



竹野内氏の講演に耳を傾ける参加者(21日、京都府中小企業総合センターで)

よると、中小企業のIT技術の導入は「(中小企業経営者は)IT技術の導入は“大企業のパソコンなどの「箱物」を揃える」と考えがちで遅れている」という状況のようだ。中小企業の再生・活性化を図るためにも、それぞれの企業経営者が抱く「ITとは何?」「導入する方法は?」という疑問を解消する必要があるという。

講演の中で竹野内氏は、文具や事務用品の販売を行うアスクルのIT導入の例を紹介し、「ITを導入することで、今まで捨てていた問い合わせのデータも有効に活用でき、成長につながった」と分析した。続けて、中小企業のIT導入の中で重要になるEC(電子商取引)について、日本企業が抱えている課題と現状の説明を行った。

竹野内氏は「日本はITや電子商取引は、スタート前夜。中小企業であっても一刻も早くそれに乗らなければならぬ」と話を締め括った。

講演会終了後の個別相談会には、熱心な参加者が具体的なIT運用の方法を求めて相談をする姿があった。

# KRP 24H

## 企業も個人も利用して欲しい 特許情報が家庭で見られる時代

京都発明協会専務理事 近藤健三氏

「写真を撮らせて下さい」と申し出ると「あ、少し待って下さい」。そそくさと上着を取りに行き、服装を整え「さあ、どうぞ。細かいことにも気を配る人だ。

現在、京都発明協会の専務理事という肩書きを持つ近藤健三氏。早稲田大学では物理学を専攻した。卒業後は大日本スクリーン製造でマルチメディアや画像処理の研究に参加、支社長も勤めている。

協会があるのは京都高度技術研究所(ASTEM)ビルの4階。京都府内の発明促進が目的だ。97年以降は特許庁からの依頼により「知的所有権センター」も兼ね、同庁の情報提供を委託されている。常勤4名の社員以外には、週2度勤務のアドバイザーがいる。業務内容に比べると「こぢんまりした職場だ」と(近藤氏)という。

主な仕事内容は、法制度や過去の知的所有権データの調査補助、各種説明会の企画運営、優れた発明の表彰だ。「特許に関して何か不明な点がある人や企業はとにかく相談を持ち掛けてください。行動をする前に、直接話し合うのが大切です」と近藤氏は語る。大企業には専属弁護士など法律の担当者がいることが多い。

そのため、相談に来るのは主に中小企業や個人だ。KRP内企業からの依頼も、もちろんあるという。

相談理由は、権利侵害に関する疑問、特許出願前の「似た発明が以前にあったか」という調査、業界の技術開発動向の把握が多数を占める。知的所有権に関する最近の動きは、ITのビジネスモデル特許に関する相談・申請が目に見えて増加したこと。おおむね昨年12月からの動きだという。

これに対し「ITビジネスモデルは4年前に出願され始めている。その情報は現在特許庁のHPから無料で

簡単に知ることが出来る。特許データを少し調べるだけで、今までの固定概念が崩されることもある」と近藤氏。

デザインの著作物、商標、最新の技術情報、これらが全て特許庁のHP「特許電子図書館」から手に入れることができる。発明委員会では、定期的な利用説明会などを通して、民間での使用を促している。「分野別の最新技術の動向や現在の技術レベルなどが企業人だけでなく大学生などからも注目されている」と(近藤氏)という。



「最近は大學生の利用も活発になってきました」と話す近藤さん



## File 12 プログラマー至上主義 ディアス

### 《スタートアップ》

現代取締役の折笠倭洋氏が2000年5月に設立。企業のニーズに合わせた情報管理システムの自宅開発から、Web関連業務、OSの一種である「UNIX」を扱う業務にまで事業内容を広げたいと考えたことがきっかけ。

### 《アントレプレナー》

折笠倭洋氏: 86年に国立舞鶴工業高等学校、電気科を中退。趣味でパソコンのカスタマイズをしていたこ



折笠倭洋・ディアス社長

とが就職につながり、山川ビジネス機器など幾つかのパソコン関連企業で勤務、プログラミングを学んだ。

### 《ビジネスモデル》

主な売り物は各企業に合わせた業務管理システムの提供、データベース連動型Webページ「ASP」の製作、レンタルサーバなど。常勤3名という少人数で企業が必要とするパソコン業務全般を取り扱う。

ターゲットは、データ管理やインターネット関連のプログラミングを自社で行うことが難しい数十人以下の会社。プログラマーがニーズを聞くことから、構築後の管理まで一貫して行うことで、顧客の目的から外れないサービスを提供する。

### 《アドバンテージ》

「オールマイティーさを持つプログラマーは案外少ない」と(折笠氏)。最先端のソフトに関する知識と、扱い易いデータベース構築に関して豊富な経験が売り。

### 《ビジョン》

1年後には、常勤を7名にまで増やす予定。「プログラマー集団」が営業や顧客との相談もするという形が目標。(同氏)。

### 《ハードル》

部分的な外部委託を考えているが、提携先が見つかりにくい。データベースを扱えるWeb制作会社を探している。

### 《トピックス》

現在開発に力を入れているのは独自の検索エンジンとiモードでメールを閲覧するシステム。「音声認識など最新の技術の基盤となっている検索・照合システムに興味がある」と(同氏)という。iモードでは、大量のメールを受け取る社会人用に、表示するメールに条件を付けるシステムを考案中。

《企業データ》  
・住所 下京区七条通烏丸西入ル 東境町191 京都東生命館3階  
・TEL 075-352-7635  
・URL <http://www.shinka.com>  
・従業員数 60名(東京支社含む)

## LIVE IN 中堂寺

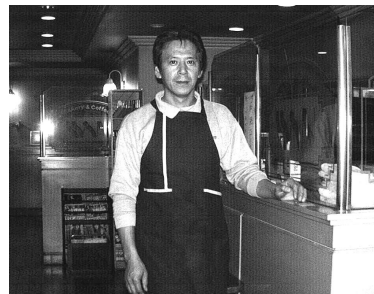
**昼食難民**  
食べ物屋さん探訪  
くつろぎの場で  
あってほしい  
「ベーカリー&喫茶  
ウイン」



ウインのマスター・宮本勝司さんの1日は早朝3時、パンを焼くことから始まる。

「以前は7時開店でしたが、もう少し早く店を開けてほしいというお客さんの要望がありましてね」(宮本さん)。店を開いて13年、朝早くから顔なじみのお客さんがやって来る。

店内には40~50種類のパンが並んでおり、喫茶コーナーでは買ったものがそのまま食べられる。煎り方を工夫したというモーニングの石焼コーヒ



マスターの宮本勝司さん

ーは250円でおかわり自由だ。

喫茶コーナーでは、パンだけでなく日替わりサービスランチ(650円)、洋食、パスタ、丼メニューもある。珍しいのが、たんぼぼの根100%ノンカフェインの「たんぼぼコーヒー」(400円)だ。京都で出している店は少なく、これを目当てに来るお客さんもいる。

「焼きたてパンの香りが広がる中で、のんびりと時間をすごしてもらいたいですね」。宮本さんの目指す店、それは「くつろぎの場」だ。

基本データ  
住所 下京区西七条赤土町35 (御前通五条150m下ル)  
時間 6:00~18:00 (モーニングは9:00~11:00)  
電話 075-314-8921  
定休日 日曜祝日

# 和装商取引、正念場へ

## 京都和装産業振興財団 流通構造改革委員会 和装業界再生に向け、宣言まとめる

和装商取引の新しいアウトラインが11月30日発表された。宣言をまとめたのは、京都和装産業振興財団(京都市下京区、渡邊隆夫理事長)に設けられた流通構造改革委員会(房本清次委員長)。和装商取引の改善を目的としたもので、対象は生産・加工・流通の和装業者約2300社となる。取り決めの実行のためには「一定の倒産やむなし」との強気の姿勢を示し、従来の取引慣行を改めていくことになった。

今回発表された宣言は、今年の6月から計9回にわたり行われた流通構造改革委員会の議論をまとめたもの。取引を文書化することや、支払手形の期間の縮小など7項目にわたる。宣言がまとめられた背景は、消費者の着物離れや、不況によって和装業界にある長年の悪習慣にひずみが生じたことがある。今年に入って丸勝や鳴河などの大手和装企業の自己破産申請が続き、その連鎖倒産の影響が室町・西陣に広がっている。同委員会副理事の松山靖史氏は宣言の内容について「普通の業界では当たり前前のことを、和装業界でも進め

ようとしている。これで淘汰も進むだろうが、倒産する企業はもともとつぶれる体質」だとし、改革実行にあたっての一定の倒産もやむを得ないとした。反対に新しい慣習を確立し、改革への真剣な態度を示すことは「消費者の信頼が得られる」(房本氏)と、自助努力への強い姿勢を見せる。宣言の中には、支払手形の期限を短くするなど、従来の慣習を続けてきた業者にとっては、金銭面で痛手となるものもある。「改革を進めるためには、行政や金融機関の支援が必要。年明けには金融懇談会を開き相談をしていきたい」と房本委員長は話す。



左から松村智史副委員長、房本清次委員長、松山靖史氏(30日、京都産業会館で)

このような改革を進める動きは従来にもあり、実効性が問われる。同委員会としても宣言の進捗状況の調査を行うとしているが「具体的な方法は今後話し合っていく」(房本氏)と、見通しはたっ

### 宣言内容

- 1 商取引において地位を不当に利用した優越的な行為は、厳しく慎み、消費者指向を配慮した取引とする。
- 2 商取引は、契約内容の明確化が重要であることを十分認識して、取引内容を文書化し、履行する。
- 3 代金の支払は、納入締め切り日から30日以内とする。
- 4 加工代金は、現金払とする。
- 5 支払手形サイトは、120日以内とする
- 6 歩引及びこれに類するものは、撤廃する。
- 7 この宣言の1及び2の項目は速やかに実行し、他の項目は2003年3月31までに実行する

ていない。また他業界で広がっているEC(電子商取引)などIT分野の導入などについては触れなかった。「大手和装企業の倒産で、業界全体に危機感が広がっている。業界再生には今が最後のチャンス」と話す房本氏の言葉がそれぞれの企業でどう具体的に実行されるのか、今後の動向に注目が必要となりそうだ。

## 駆け出しベンチャーキャピタリスト奮闘日記

### 【第6回】株のこと

#### 「経営する以上、自分の株は売れない」

山本亮二郎

○月○日 ベンチャーキャピタル(以下、VC)の仕事に就いて半年が過ぎようとしている。この間、多くの社長に会ってきた。「株」というものが、「経営」と密接おそらく、もう100人程度にはなっているだろう。私の所属するフューチャーベンチャーキャピタルの場合、毎週火曜日は投資委員会と称して、投資の検討を進めている会社の社長にお越し頂き、事業計画や会社の理念について、全投資部員と役員の前で必ず発表をしていただく。30~40分のご説明をいただいた後、質疑を30分、審議を30分という大体の流れになっている。もちろん、審査そのものには一般的に最低でも3ヶ月は時間をかける。余談になるが、「審査」の期間というのは、投資「決定」をするまでではなく、投資「実行」をするまでの期間のことだ。VCを活用して資金調達を考える場合、あるいはより踏み込んで、VCを役員として受け入れる場合であれば尚更、そのことは知っておいた方がいい。これは私見になるが、VCの仕事はかなり「特殊」な仕事ではあるかも知れないが、何か「特別」な仕事だという訳ではない。ビジネスの仕組みとすれば至ってシンプルで、未公開会社の株式を「購入」して、公開時に「売却」する。その差額の一部が直接的な収益になるという分かり易いものだ。(フューチャーベンチャーキャピタル所属、r-yamamoto@fvc.co.jp)

殊であるのは、「購入[仕入れ]」から「売却」までの期間が極めて長いということだ。また、商材である「株」というものが、「経営」と密接(実は経営そのもの)であるため、その取得割合に応じて、「株主」として一定の権限が付与されるという点が、通常の商取引とは違う。これは極めて重要なことで、だからこそ信頼関係のない「取引」は絶対に成功しない。それは、VCにとってその取引が成功しないということはもちろんだが、もっと言えば、その「経営」が成功しないということだ。私の尊敬する社長(31歳)が、最近こんなことを言っていた。「○○さん(ある公開会社の社長)から聞いた例えだけど、株は土地みたいなもの。土地だけあったって住めないし、売ろうと思ったら建物を壊すしかない。自分の会社の株っていうのは、経営する以上売れないってことですよ。だったらそんな売れない株をたくさん持つより、みんなに持ってもらって協力してもらって、大きな建物をたてた方がいい。第三者に株式を割り当てるということは、そういうことだ(ただし、経営者の持株比率の話は別)。その延長では至ってシンプルで、未公開会社の株式を「購入」して、公開時に「売却」する。その差額の一部が直接的な収益になるという分かり易いものだ。(フューチャーベンチャーキャピタル所属、r-yamamoto@fvc.co.jp)

## Business Seminar

■KIT 産学交流フォーラム 21世紀のモノづくりマネジメント  
《テーマ》「知的資産の経営」  
《主催》京都工芸繊維大学地域共同研究センター、京都工芸繊維大学繊維学部デザイン経営工学科、日本感性工学会デザインマネジメント部会、京都リサーチパーク、関西 TLO

《主な内容》経済の低迷や生活者の価値観の変化、地球環境問題などの課題に対する今後のモノづくりについての講演。講演後、「21世紀のモノづくり」と題したシンポジウムも行われる。  
《講師》コラム代表 紺野登氏  
《日時》12月11日午後1時半から7時半まで  
《場所》京都リサーチパークサイエンスセンタービル1号館4Fホールで  
《問い合わせ》電話 075-315-8250 (関西 TLO 京都工芸大フォーラム事務局) か tlo@krcp.co.jp まで  
■「次世代デバイス設計技術研修会」次世代デバイ

ス設計技術の修得とそのウ用製品開発を目指して  
《主催》京都府中小企業総合センター、京都経営・技術研究会  
《主な内容》最近のデバイス技術の展開と半導体業界で登場し始めているシステムLSI(集積回路)設計を行うベンチャー企業を紹介する。最終的には次世代のハードウェア設計技術修得を目的とする。  
《講師》京都大学 大学院 工学研究科 正城敏博氏 他  
《日時》12月15日、1月19日、2月2日、8日、9日の各午前9時から午後4時まで  
《場所》京都府中小企業総合センターで  
《問い合わせ》電話 075-312-0417 (京都経営・技術研究会係) まで

### 京都株式値動き 11月30日現在

銘柄	終値	高値	安値	売買高	前週終値	前週比
1790	△2 平和奥田	350	350	1,000	350	0
1897	△2 金下建	505	505	1,000	490	15
2213	△2 ナガサキヤ	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
2219	△2 タカラブネ	98	98	93	76,000	91
2531	●宝酒造	2,290	2,290	2,255	583,000	2,135
3002	●グンゼ	420	424	399	1,909,000	397
3009	●川島織	136	137	129	108,000	130
3521	●日レース	90	92	86	84,000	82
3551	●ダイニツク	141	144	141	28,000	144
3570	△2 オリカ	150	150	145	31,000	141
3572	△2 大同染	50	50	41	3,000	55
3591	●ワコール	991	999	987	199,000	987
3600	△2 フジックス	400	400	400	1,000	400
3602	△2 イタリアード	105	106	105	8,000	110
4406	△日理化	535	535	511	16,000	537
4461	●コーン工業	315	315	300	53,000	315
4471	●三洋化	844	845	825	47,000	826
4516	△日新薬	945	990	945	124,000	1,068
4671	△2 ファルコ	1,550	1,550	1,520	5,000	1,660
4696	△2 ワタベ	1,000	1,000	980	2,000	1,000
4728	△2 トーセ	3,810	3,940	3,810	600	3,800
4730	△2 関西メンテ	492	492	490	9,000	450
4735	△2 京進	325	325	325	3,000	339
4962	●互応化学	800	800	800	2,000	800
5928	△2 アルメタクス	180	180	180	1,000	209
5955	△2 山科精	85	90	80	246,000	85
5957	●日東精	189	189	181	5,000	184
5966	△2 KTC	260	260	260	4,000	295
5985	△2 サンコール	370	371	369	33,000	341
6216	△2 寿工業	81	90	81	5,000	90
6315	△2 TOWA	2,675	2,730	2,650	88,700	2,320
6398	△2 電産シンボ	763	780	763	19,000	795
6482	△2 コーシン精機	5,050	5,160	5,050	15,600	4,960
6594	●日電産	6,550	6,550	6,140	161,300	6,530
6641	●日新電	267	267	262	77,000	260
6645	△オムロン	2,505	2,540	2,490	1,450,000	2,590
6748	△2 星和電	401	420	401	10,000	450
6833	●電産リード	2,060	2,060	2,060	6,000	2,060

銘柄	終値	高値	安値	売買高	前週終値	前週比
6856	●堀場製	935	935	910	15,000	912
6931	●日電池	395	399	390	98,000	385
6963	△ローム	26,700	27,700	26,280	301,700	26,400
6971	●京セラ	14,500	14,600	14,160	758,900	14,100
6981	△村田製	14,800	14,870	14,500	531,600	14,750
6996	●ニチコン	1,659	1,690	1,650	186,800	1,795
7105	●ニチユ	182	182	180	25,000	178
7510	△2 竹菱電機	1,090	1,090	1,090	3,000	1,090
7580	△2 フーズネット	1,200	1,200	1,200	1,000	1,210
7701	●島津	384	386	373	1,055,000	372
7735	●スクリン	572	580	553	1,025,000	530
7915	●日写印	570	581	556	41,000	572
7919	●2野崎紙	255	255	255	3,000	235
7974	△任天堂	16,590	16,640	15,780	440,600	18,650
7979	△2 松風	661	661	661	1,000	554
8027	△ルシアン	87	87	82	22,000	87
8115	△2 ムーンパット	105	105	101	14,000	107
8118	△2 キング	137	140	136	13,000	131
8148	△2 上原成	270	270	266	4,000	262
8244	△京都近鉄	130	130	128	18,000	130
8248	△2 ニッセ	260	286	251	27,300	270
8276	●平和堂	770	780	755	38,000	724
8366	●滋賀銀	485	486	484	93,000	485
8369	●京都銀	464	465	457	41,000	475
8515	△2 アイフル	9,020	9,040	8,530	117,900	8,320
8552	△びわこ銀	280	280	280	39,000	280
8577	△日栄	600	612	580	158,300	550
9049	△2 京福電	165	165	156	4,000	165
9309	△2 京神倉	282	282	282	1,000	270
9319	△2 中央倉	500	505	500	6,000	530
9723	●京都ホ	200	200	200	1,000	145
9826	△2 JEG	153	155	153	3,000	158
9936	△2 王将フード	980	981	980	9,000	990
9981	△2 ニック産業	600	601	600	2,000	699
1788	+ 三東工業	200	210	200	5,000	219
2658	+ ウライ	240	240	230	11,000	235
5820	+ 三ツ星	285	285	280	3,000	280
6414	+ 川重冷機	355	355	330	15,000	355
6654	+ 不二電機	495	510	495	19,000	520
6837	+ 京電写	700	720	690	4,000	750
6914	+ オブテックス	980	980	970	6,000	995

※株価コード横の◆は京証、●は東証、△は大証、+は店頭、2は2部

※売買が成立しなかった銘柄の「終値」は前日以前の最終の終値です。その場合「前日終値」は直近取引日の前の最終取引日の終値です。



「新しいものを発信している意識はなく、自分たちが“気に入ることのできる”ものを作っているだけ」。そう話すのは、新しいデザインのカフェとして多くの人を引き付けている「efish」のオーナー、西堀晋氏。多くの若者や美術関係者が訪れる彼のアートな空間、そこには西堀氏のどんなこだわりがあるのだろうか。

“昔ながらの情緒”をモダンに

京都に「五條楽園」と呼ばれる場所がある。そこは昔、遊廓として繁栄し、軒先には遊廓を示す金魚がゆらゆらと泳ぐ姿が見られたという。五條木屋町、鴨川沿いの一角にそんな光景を思い出させるようなカフェがある。プロダクトデザイナーである西堀晋氏(34)がプロデュースし、経営する「efish」。店名は五番目の魚という

意味を持つ。「efish」は遊廓の金魚をイメージした。看板を出してしまうのではなく、奥ゆかしく伝えたいと暗に示す、そういう京都のしきたりや文化が好きなんです。そう話す西堀氏がプロデュースする店内には、あちらこちらに金魚が泳いでいる。オレンジ色のウレタンでできた椅子は、五條大橋から見れば「鴨川に浮かぶ金魚」にも見える。店内を明るく見せる窓にも実は特徴がある。川沿いなので窓の外には柵が

あるはずだが、並ぶのは大きな窓だけ。「庭師の石川丈山の作った枳殻邸(きこくてい)は、襖(ふすま)を開けてば、棧(かき)の役目を果たし、そこから見える風景が1つの絵画になる。そんなものをefishでも作りたかった。西堀氏の言葉通り、1階は窓をすべて開ければ鴨川の風景で一つの絵画を



店内並ぶ西堀氏の作品

作り上げることができる。efishは昔からの文化に見られる、情緒あふれる手法をモダンなアート空間に取り入れている。

「作りたいたいののはアートじゃない」

心地よさを追求した空間「efish (エフィッシュ)」

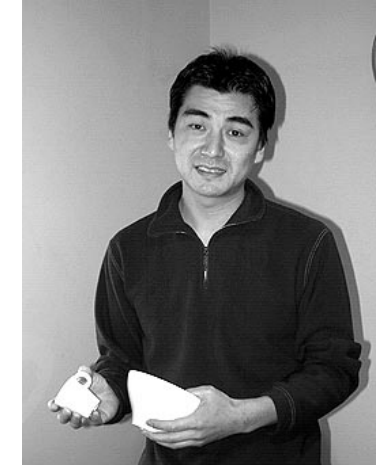
廃アパートを“心地よく気持ちよく”

西堀氏は大手電機会社で9年間デザイナーの仕事に携わった。「無印良品」の

CDラジカセなどプロダクトデザインを手掛けたりもした。しかし、作っていくうちに売上を意識するメーカーの考えと、自分が作りたユーザーサイドの作品に違いが出てしまうという壁にぶちあたった。そして、西堀氏は会社を辞めた。「ユーザーが満足できる物づくりって何なんだろう?」。自分自身のその疑問に応えるため、作る側ではなく捨てる側を見ようと思いつき、現場に通うこともあった。一時はデザイナーをやめた時期もあったという。そんな中、西堀氏は手始めに、自分たちの住む家を“自分たちが満足できる”ようにリメイクして生き返らせることを試みる。廃虚と化していた古アパートを改築し、自宅と事務所を改築した。「もともとは自分たちのために作った」(西堀氏)スペースだったが、その心地よさが来客を増やし、カフェ「efish」をオープンするきっかけになった。

徹底する自分のこだわり

店内に並ぶのはユニークな形の食器や、スポンジ素材のイス。そのほとんどは西堀氏のデザインによるものだ。作品1つ1つはアートとして認められ、訪れた人を魅了する。西堀氏の作品の芸術性に引かれて訪れるデザイン関係者や建築家も多い。ただ、西堀氏のこだわりは「アート」にあるのではないという。「今のデザインは合理性を重視したものが多く、でなければアートとして芸術性が重視されたもの。僕はそうじゃなくて、機能的だけどちょっとしたユーモアやウィットがきいていて心地よくなれるものを作りたい」。西堀氏の言葉を受け作品の1つ1つをじっくり見てみると、細かいところに使う人への心配りが見られる。構造学に基づいて、優しい座り心地が長時



オーナーの西堀晋氏  
問われるようにデザインされたイスはその典型。西堀氏はデザインする製品が「道具としてどういう位置にあるのか」を考えながら、おもしろさや心地よさも忘れずに付け加える。「efishはいいものを作り出していくための実験の場です」(西堀氏)。efishでやっていることがプレスなどでとりあげられることも多くなり、家具やリフォームの依頼も増えたという。だが、西堀氏は「自分の作るものが自分のこだわる“心地よいもの、いい感じのもの”という範囲内でおさめたい」とこだわり続ける。



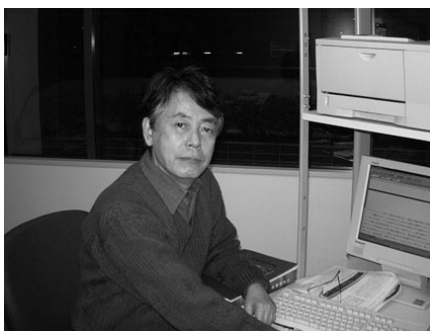
efish 店内。窓を開ければ「鴨川」という絵が作られる

研究室探訪

日本型ジャーナリズムの源流を探る

京都女子大学現代社会学部 柴山哲也研究室

日本型ジャーナリズムはいつ生まれたのか。その本質は何か。朝日新聞記者から京都女子大学現代社会学部教授に転じた柴山哲也さんは、「不偏不党」という発想の有無が日本と海外のジャーナリズムを隔てるカギだと見る。日本人にとって当たり前の「不偏不党」がどうして重要なのか。そんな疑問を解決すべく、東山七条の「女坂」を上った。



柴山哲也(しばやま・てつや)  
静岡県出身。同志社大学新聞学大学院中退。朝日新聞社に入り、大津支局、学芸部、「朝日ジャーナル」編集部などを経験。94年に退社し、ジャーナリズム研究の道に入る。

「欧米のジャーナリズムにとっての編集原理は『言論の自由』。同時にそれは『偏向の自由』でもある。学芸部出身の柴山教授は静かな口調で話し始めた。真新しい学舎の研究室には東西のジャーナリズム論の書籍や日本ではなかなか手に入らない欧州の新聞などが丁寧に並べられている。「それに対して日本の新聞の編集原理は『不偏不党』。偏向は許されない。米国のフェアネス、インディペンデントといった観念とは明らかに異なる」。その違いの源流は何なのかという追跡が柴山教授にとって学問への入り口だった。そして行き当たったのが、米騒動の余韻さめやらぬ大正7年(1918年)に起こった「白虹(はっこう)事件」。社会争乱をおおるような記述が記事中にあったとして、当時の大阪朝日新聞が官憲の介入を受けた事件だ。この際に朝日は新たな編集綱領を掲げ、政府に対して表

向き恭順の姿勢を示す。その中で「不偏不党」という言葉がジャーナリズムとして初めて使われたのだという。「皇基(天皇制)に対する不偏不党を謳(うた)っていました。政府への屈服ではなく、超越の意思を表明したものと注目に値します」と柴山教授は言う。それを契機に、日本のジャーナリズムはお上と民衆をつなぐ仲介者として成長していく。「欧米ジャーナリズムの思想の本質が市民革命であることは対称的」だ。だが、現代世界の多くの課題は産業革命や市民革命に由来する近代化に拠っている。柴山教授は「『言論の自由』がむき出しになる欧米社会とは異なる日本の編集原理が、改めて価値を持つ時代が来ているのではないかとみる。にもかかわらず、日本のジャーナリズム研究には自身の伝統を相対化して分析する伝統が薄い。研究成果をジャーナリズム界のスタンダードにしていく回路も設けられておらず、閉塞感が高まる一方だ。そうした閉塞感を打破し、京都に世界的なジャーナリズム研究の拠点を設ける。それが柴山教授の大きなテーマだ。

読んでみました

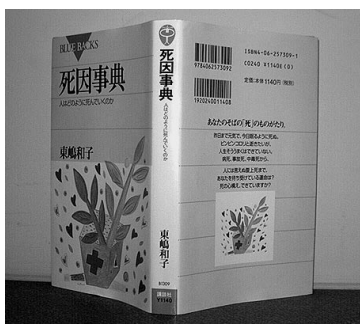
私はこの本を手にしようとする人に伝えたい。心して読まなければ死因の解説と膨大な数字に飲み込まれる。この本は“ものがたり”ではなくあくまでも「辞典」だ。連続して登場する人物もいなければ、もちろんストーリーを方向付ける心理描写があるわけでもない。あるのは人間の行動がどのように死に結びつくかという道筋。その説明だけが淡々と語られる。著者である東嶋氏は冒頭で、ある問いを投げかけている。「火をともせば永遠の命がえられるライターがある。一度だけ火をともせば、あなたはどうしますか?」。人間はいま、極限で120歳前後ま

で生きられると言われている。科学の進歩によりひとの寿命は伸び続けてきた。だが、設問にあるような永遠のいのちが与えられるライターはまだ発明されていない。人間はいま現在、まちがいなく“死”を経験するのだ。ある教授の言葉に「一人ひとりの独

“死に方”は知るべきか? 「死因辞典」東嶋和子著

特な個性が、死のかたちにも反映される」というのがある。それが示すように、人間には幾通りもの死に方がある。病死、他殺、災害による突然の死、自ら死を選ぶ自殺、その中には本人が注意さえすれば、逃れることができる死もある。「脂肪を抑えた食事をとれば、ある種のがんのリスクは下がる」ように。この本は“死に方”の心構えを私た

ちに提供してくれる。だが、“死に方”を意識することは、人生の楽しみを捨てることでもありと私は感じた。“死”を先延ばしするために日常の幸せを捨てなければいけないのは、寂しいことでもある。著者は人が生きることの意味をも問いかける。すべてを読んだ後、著者の問いにあなたはどんな答えを見つかるだろうか。(講談社 1140円+税)



ベストセラー

アバンティ書店調べ  
11/20~11/26

人文書

書名	著者
1 劇場用アニメーション映画太陽の法ガイドブック	幸福の科学
2 日本の戦争	田原総一郎
3 台湾論	小林よしのり
4 原理	柄谷行人
5 日本の歴史00「日本」とは何か	網野善彦
6 心理戦で絶対に負けない本	伊藤明
7 話を聞かない男、地図が読めない女	アラン・ピーズほか
8 大正天皇	原武史
9 アメリカ信仰を捨てよ	石原慎太郎
10 国民の道徳	西部邁

ビジネス書

書名	著者
1 仕事ができる人でできない人	堀場雅夫
2 金持ち父さん 貧乏父さん	ロバートキヨサキ シャロンレクター
3 2001年日本経済バブル後最悪の年になる!	高橋兼宣
4 IT革命のカラクリ	月尾嘉男 田原総一郎
5 株・投資信託 外貨預金がかかる基礎の基礎講座	細野真宏 マネー経済プロジェクト
6 聴覚刺激で頭の回転が驚くほど速くなる	田中孝顕
7 経済のニュースが面白いほどわかる本	細野真宏
8 不況もまた良し	津本陽
9 大人のスピード思考法	中谷彰宏
10 速聴でこうして引き寄せ超集中力	きこ書房



旅客用宇宙飛行機が飛び交う近未来。月面で謎の物体が発見される。その物体が木星へ電波を発信していることから、科学者達は調査のために宇宙船“ディスカバリー”で木星へ向かう。1968年に公開された映画、『2001年宇宙の旅』でスタンリー・キューブリック監督が描いた世界だ。現実の2001年はもうすぐ。地球外生命の存在はともかく、映画に描かれていたような宇宙旅行はかなり身近なものとなり始めている。

# 先端 ビジネス

## バカンスは大気圏を越えて

# 宇宙旅行は夢じゃない★

### 数年以内に実現の可能性

宇宙旅行を企画しているのは米バージニア州の有限会社「スペースアドベンチャー」。もともとは米シアトルの冒険旅行会社「ゼグラム・エクスペディションズ」が募集を行っていたものだ。2年前にゼグラム社がスペースアドベンチャー(SA)社に買収されたため、現在はSA社が担当している。

当初の計画では2001年12月1日から宇宙旅行が開始されるはずだった。まさにキューブリックが映画に描いた通りだ。しかし前述の買収の件や、宇宙船の打ち上げ実験失敗などの事情が重なり、現在のところ正確な開始日は未定。SA社としては2003年～2005年での実現を考えているとHP上で発表している。

企画に曖昧な部分を残してはいるが、2年前の募集時には世界各国から20人以上の申し込みがあったという。

旅行費用が日本円にして1000万円以上になるにも関わらずだ。

JTBや近畿日本ツーリストなど日本の大手旅行会社もゼグラム社からの依頼で募集を行った経緯がある。東京都内のある店舗では120人以上の仮申し込みがあったそうだ。当初の反響はかなりのものだった。

だが旅行開始時期の見通しが立たないこともあり、「現在問い合わせはほとんど無い」(旅行会社広報担当者)。

### 実際にはまだ夢物語?

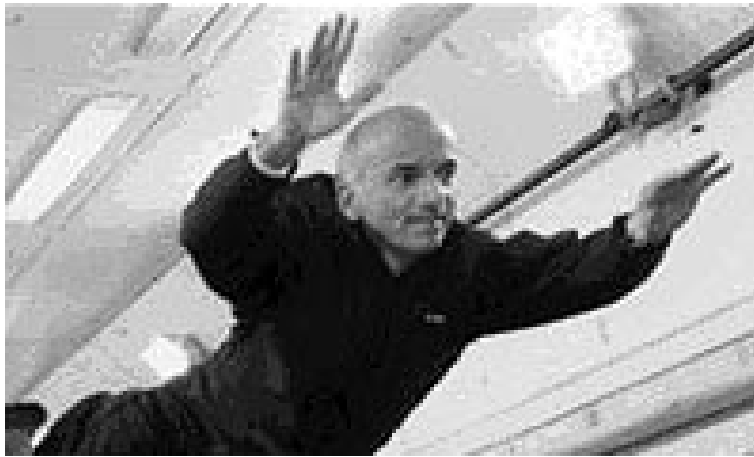
宇宙旅行の開始日が確定し実現されたとしても、実際に参加すると様々な問題が残る。

SA社自身も「技術、医学、法律、それから特に費用といった面で多くの問題がある」と認めている。民間人が主体の宇宙“旅行”は過去に例が無く、どの分野でも対応策は手探りだ。

保険の問題も大きい。前出の日本の



宇宙に飛び出す日も遠くない? (スペースアドベンチャー社のHPより)



無重力世界で宇宙を体験。(同HPより)

「週替わり特集」面は、「人材・教育」「環境」「先端ビジネス」「地域経済政策」などに関する問題を週替わりで取り上げます。

旅行会社は積極的に宇宙旅行を主催するつもりがない。「宇宙旅行保険」などがまだ無いため、既存の保険制度でどの程度カバーできるかが未定だからだ。

旅行に申し込む人々の中には「死ぬ覚悟で」いいから宇宙へ行きたい、という人も多いそうだ。しかし会社側としては「そうもいかない。事例が無いので何とも言えない」(同社広報担当者)という。

SA社側も旅行者に保険に加入することを勧め、様々な方策を提供するとしている。とはいえ旅行パックには保険が含まれておらず、最終的には自己責任という形になっているのが現状だ。新世紀になったからといってすぐに夢物語が実現するという状況ではないようだ。

### 宇宙飛行士、すでに400人

20世紀は開発競争という意味で“宇宙時代”だった。

競争幕切れとなったのは1961年。旧ソ連「ポストーク1号」にユーリ・ガガーリンが搭乗し、世界で初めて人類が宇宙へ飛び出した。

米国は大きなショックを受け、当時大統領だったケネディは対抗上、「米国は月に人類を送る」と声明することになる。以後、宇宙開発は飛躍的に発展してきた。

そして69年、米国はアームストロング船長ら3人を乗せたアポロ11号を、宣言通り月面に着陸させた。映像が世界中のテレビで放映され、宇宙を

身近に感じるきっかけとなった。

86年に打ち上げられた旧ソ連の宇宙ステーション「ミール」は、老朽化したとはいえ、今も機能している。

この後91年に冷戦構造が崩壊し、宇宙に関しても「競争」から「協力」の時代へと変化した。今秋からはミールを利用し、各国協力体制の国際宇宙ステーションの組み立てが始まった。

ガガーリン以来、宇宙に飛び出した飛行士は400人近くになるそうだ。有人飛行は当たり前のできごととなっている。今は様々な問題を抱えているとはいえ、一般人の宇宙旅行も確実に現実のものとなりつつある。実生活レベルでの“宇宙時代”は近い。(山崎徳子)

**FROM まぐまぐ**

学をみなさんにお届けします。職場や学校での話題にいかがでしょうか。

- りばして通信 <http://www.mag2.com/m/0000052944.htm> 週刊 エンドユーザーコンピューティングをテーマに初心者から上級者まで、パソコンの活用方法を提案します。また、「IT」に関するコラムもお楽しみください。
- 派遣労働ネットワーク・メールマガジン <http://www.mag2.com/m/0000053050.htm> 不定期 派遣労働を巡る問題についての相談、アドバイス事例を配信します。また、電話相談や講演会の日程のお知らせも行います。
- グリーンライフ・ログハウスマガジン <http://www.mag2.com/m/0000052947.htm> 不定期 ログハウス建築に関する情報や住宅の金融規制に関する情報等を配信。
- 中小企業経営塾 <http://www.mag2.com/m/0000052980.htm> 月2回 中小企業経営者・管理職のために、経営活動に役立つ情報を提供するメールマガジンです。講師陣は税理士、中小企業診断士、MBAなど各分野のプロフェッショナルが毎回趣向をこらせた記事をお送りしております。
- ウェブフロンティア <http://www.mag2.com/m/0000053004.htm> 週刊 在宅・安心・堅実なビジネスを毎週紹介していきます。有料・無料広告も展開中。ぜひご利用ください。
- 21世紀の仕事術-プロジェクトマネジメント <http://www.mag2.com/m/0000053065.htm> 隔週刊 終身雇用の崩壊・年棒制・実力主義等21世紀の社会人は、勝ち残るために新しい仕事の進め方を学ぶ必要があります。そこで、21世紀の社会人全ての方に必要なプロジェクトマネジメントの基本を学習していきます。
- KABSK 全銘柄スクリーニングデータ <http://www.mag2.com/m/0000053090.htm> 日刊(土・日・祝祭日を除く) 東証・大証・マザーズ・ナスダックジャパンに上場している全銘柄の投資情報(終値・出来高・乖離率・RSI・VR)が毎日無料で配信されます。データを表計算ソフトにインポートしてスクリーニングも可能です。
- みんなで学ぼうシーケンス回路 <http://www.mag2.com/m/0000053099.htm> 不定期 シーケンス回路の読めない方及びこれからシーケンスを勉強したい方向けメルマガ。みなさん一緒に考えましょう!
- ショップウェブ! <http://www.mag2.com/m/0000052965.htm> 日刊(土日祝休刊) こんなメルマガ欲しかった! 日本のモールの“今”が3分でわかる超お得情報満載マガジン登場。購読者には毎週ギフトカードが1名様当たる!
- e環境リサイクルNAVI <http://www.mag2.com/m/0000053056.htm> 隔週刊 環境関連の総合情報サイト『e環境.COM』が提供する「エコグッズ、リサイクル情報紹介マガジン」です。読者参加型のこのマガジンを通して、読者のみなさんのエコ生活を支援します。投稿無料。

島津が五条工場の老朽化で生産施設の市外移転を決めたのは96年。五条工場は48,614㎡の敷地面積で、産業用油圧装置や半導体の製造・検査装置を製造していた。

### 「大店立地法」下初の大規模開発

当初は工場としての再開発を検討していたが、工場等制限法により断念。

売却や住宅開発などを検討しているなかで98年5月に大店法(大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律)が改正される。

その結果、経済活性化への呼び水として、規制緩和された大店立地法(大規模小売店舗立地法)が成立した。

「地域経済の活性化と大店法改正による商業施設の事業性が向上する」(島津社長室広報)との見通しから98

年夏、島津は工場跡地を複合商業施設として開発することを社内決定した。

翌99年4月に三菱商事と大手スーパーのジャスコが主要株主である開発会社、ダイヤモンドシティと共同開発することで正式に合意。島津は工場移転と商業開発化について市と商工会議所に説明したが、開発内容の概要は2000年に決定するとした。

大店法が大店立地法に改正され大

きく変わったのは、商業立地に対する見方だ。

大店法は国が運用主体となって大規模、小規模それぞれの小売業者間で経済的な調整をすることが大きな目的だった。これに対し大店立地法では、都道府県と政令指定都市が運用主体となり、まちづくりの観点から出店地域の環境に配慮することを求めている。

## TOPICS トピックス

京都市は先月21日、土地開発計画を検討する市長の諮問機関「土地利用調整審査会」の初会合を開いた。島津製作所が五条工場跡地に開発を計画している大型複合商業施設が議題だ。同会には今年6月に施行されたまちづくり条例(京都市土地利用の調整に係るまちづくりに関する条例)に基づいて提出された跡地開発構想が諮問される。この開発構想をめぐって島津と京都市の間で大きな溝ができていく。

### 混迷続く島津五条工場跡地開発問題

# 依然埋まらぬ深い溝

#### 上限設けない新法

島津は大店立地法に基づいて開発計画を進めていた。売場面積を36,300㎡とし、上限を設けていない大店法に合致するものだ。

一方今年5月、大店立地法とは別に京都市が都市計画の見地から制定した「まちづくり条例」の中に「商業集積ガイドプラン」が盛り込まれた。市はこのガイドプランで商業・産業の集積地域を7ゾーンに分類。新規の商業開発について大店立地法と同様に周辺住環境に対する配慮を求める。

しかし、工場跡地のある地域は、ガイドプランで売場面積を20,000㎡以内に限られた。ここから島津と京都市のズレが生じ始めた。

ガイドプランによると島津五条工場は、産業機能集積ゾーンの中で既成市街地内工業地域に位置する。住宅街と中小工場、大手ハイテク企業の本社工場などが混在する地域だ。

この地域の商業規模に上限を設けたことについて市は「都市基盤が未整備」(産業観光局商業振興課)という。ターミナル駅などと違い交通機関が未発達であることから、施設の利用者の交通手段が車に限られる。大規模店で車が殺到すると渋滞、排気ガス等の問題が増えるというわけだ。

#### 20,000㎡「根拠が希薄」

20,000㎡という数字については「北大路や醍醐など既存の大型店の規模を参考」(同)にした。

これに対して島津は、「数字の根拠が不明確」と主張するほか、ガイドプラン自体についても「まったくコミットする機会がなく、公平さに欠ける」

(島津広報)と反論する。また、10月18日に市長に提出した見解書でも「(36,300㎡が)最低限必要」として一歩も譲らない構えだ。

10月中旬に島津の見解書を受けとった市は来年2月をメドにこの計画に対して指導・助言をする予定。島津

も来年夏の建設開始に向けて来春までには計画の詳細を策定したい考え。両者は現在、水面下で攻防を続けている。

京都市西部地区では郊外型の商業施設が多いほか、大手自動車メーカーも工場用地売却を検討しているとされる。島津の跡地開発の行方が今後のまちづくりのルールに影響するものとして注目を集めそうだ。



看板もはずされ更地になった島津製作所五条工場跡地(先月30日) 商業施設建設の前には埋蔵文化財がないかどうか調査されるという

### ニュースリリース

## PickUp!

North-East-West-South-

### イベントツールの総合検索サイト誕生

株式会社スーパーキッズは、イベントツールが検索可能な「イベントツールネット」を12月初旬に公開する。

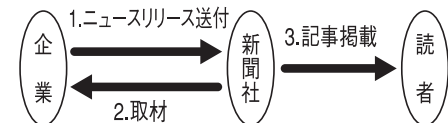
イベントツールネットとは、イベントツールを持つ会社とイベントツールを求めるユーザーがお互いの条件にあわせて出会えるサイトとして同社が開発したもの。イベントツールを持つ会社が登録後、個々のツールのイベント情報を登録。12/11の一般公開後は、一般ユーザーが自分の条件(ジャンル/開催内容/テーマ/対象年齢/金額帯/地域)を入力し、必要としている情報を検索できる。そこで得た情報により直接取引することも可能になるので、いままでも代理店やイベント会社に支払っていた中間マージンもカットできる。

また、これによりイベント業界内のわかりにくかった情報を統一するため、よりわかりやすく公開することができる。また、一般ユーザーが自らの手でイベントを企画、実施することも実現するので、イベント業界の活性化につながるという。

株式会社スーパーキッズ  
代表者名 大塚治之  
Mail what@eventtool.net  
TEL 042-765-7284  
イベントツールネット URL  
http://www.eventtool.net/  
当社 URL http://www.superkids.co.jp/

### ニュースリリースって何だ?!

企業側から、知ってもらいたい情報(例えば新製品発売やイベント開催)を、新聞などのメディアに簡潔に伝える資料です。新聞社はニュースリリースをもとに、その企業を取材し、記事として取り上げます。



### 記事掲載は?

お送りいただいた情報の取材・掲載判断は本紙編集部が責任を持っています。また、公序良俗に反する内容の掲載はお断りします。

京都経済新聞社 編集部  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町1 京都リサーチパーク4号館5階  
TEL075-316-1000 FAX075-315-8935  
info@kyoto-keizai.co.jp http://www.kyoto-keizai.co.jp/

### 報道FAX

貴社名
部署名
ご担当者
ご住所
TEL
FAX

京都経済新聞社行 075-315-8935

- にチェックしてください
- 新製品・新サービス  新規事業
- 業務提携  資本移動
- 人事異動(  役員  幹部  現場責任者 )
- 計報  その他

ニュースリリース

#### 発表テーマ

発表内容 (入りきらない場合は自由に用紙をご追加ください)

いつ?  だれが?

どこで?

何を?

それはなぜ?

今後どうなる?



京都を歩いて暮らせる街にしようという運動が民官ともに活発になっている。この街はもともと自動車などない時代に形作られた。1200年のうち1100年あまりは99%の人が歩いてきたはずだ。実際歩いてみれば歩いて暮らせる街への糸口が見えるかもしれない。そう考えて、靴を履き替え街に出た。

# 京で生きる

第4回 京都にふさわしい交通とは

## 「歩いて暮らせる街」は夢のまた夢…?

浪士になって壬生から河原町へ

坊城通綾小路下ル。現在は中京区壬生柳ノ宮町(やぎのみやちょう)にある「壬生屯(とん)所」。ここを起点に河原町三条を目指す。

### 壬生から河原町まで45分

壬生屯所は幕末、近藤勇率いる新撰組が拠点をついた旧郷土邸宅。一方河原町三条界隈の町家には尊皇の志士らが潜んでいた。新撰組の面々は毎日壬生屯所から出張して尊皇側の浪士を取り締まりに行っていた。

もちろん徒歩だ。当時の馬は今のペンツより高い。農民出身が主体の新撰組が馬を使えなかった。

今、壬生界隈から河原町三条まで徒

歩で行く人はほとんどいないだろう。徒歩で何分かかかるか知る人は少ない。

壬生屯所から四條堀川までわずか15分。そのまま四條通を直進して河原町通を北上すれば、45分弱で目的地に至る。ちょっとした通勤と変わら



歩行者の行く手を阻む放置バイク(黒門通四條下ルで)

ない時間距離だ。当時の新撰組隊員にとっては軽いウォーミングアップ程度のことだったかもしれない。

西京区や山科区、伏見区へと市街地が広がった現在、すべてを徒歩でというのはもちろん無理だ。しかし、旧市街のサイズは昔も今も同じ。十分に「歩ける街」だということが実感できる。

ところが、実際歩いてみるといくつもの難関にぶつかる。歩きにくい要素が無数にある。

### 立ち足はかかる無数の難関

壬生屯所の正門を出て20mほど北へ上がるとすぐに東西の綾小路通がある。幕末の新撰組隊員は通常、この道



ベビーカーの母がむき出して大型乗用車と共存を強いられる(油小路綾小路下ルで)

をまっすぐ東に寺町あたりまで歩いたはずだ。

最初は軽快な歩み。古い町家や寺院など、幕末と変わらない町並みが続く。ところが5分ほど歩いたところで第一関門にぶつかる。大宮通だ。100m北の四條通まで上がらなければ横断歩道がない。幹線道路の1つで車の往来は多い。歩行者や自転車が左右を気にしながら横断歩道のない道路を西へ東へ渡っていく。命がけだ。

堀川通はさらに交通量が多い。さすがに信号なしの横断は無理と四條へ上がり、東側へ。そしてもう一度綾小路に戻る。四條通はバスや大型ディーゼル車がひっきりなしに通り、黒煙をまき散らす。

綾小路油小路。堀川以東の綾小路は、四條通の渋滞を避ける車が東から西へひっきりなしに通る。南から油小路を北上する車も多い。自転車、歩行者、ベビーカーと、あらゆる種類の通行者が交錯する。

道の幅は幕末と同じ。その結果、人と車がむき出して共存せざるを得ない状況を生みだしている。

### 電柱は歩行者の「敵」

さらに状況を悪化させているのが電柱の存在だ。ほとんどの交差点近くには道路にせり出して立てられた電柱が

歩行者、とくにベビーカーや老人用の補助カート、車椅子などの利用者に立ち足はかかる。

高辻通大宮西入ル。この2本の電柱が歩行者無視の街づくりを如実に物語る。車椅子や自転車はおろか、人さえも肩を傾けなければ歩道を通ることができない。申し訳程度の歩道ならぬいほうがまだまし、と思わせる。

人車分離の思想。豊かな街づくりの



電柱2本が中央に鎮座する。人も自転車も通る余地がない。(高辻通大宮西入ルで)

ためには避けて通れない。

だが京都の現状は、江戸から明治にかけて人々が営々と築き上げた都市構造の上に、電気と自動車という2つの文明の利器を重ね合わせただけに過ぎないようだ。その結果、どうしようもない混乱に陥っている。

この街を歩いて暮らせる街に改造していくには、構想力と根気がなによりも必要だと感じた。

## 視点

まず、親指と人差し指でわかを作。次に手を前につきだしてそのわかを思い切り開く。そこで一言「おっはー」。

フジTVのパラエティー番組「サタスマ」で、スマップのメンバー香取真吾が使っていたこの「おっはー」の造語「おっはー」が社会現象になっている。今年の流行語大賞(12月1日発表)のノミネートはもちろんのこと幼稚園、小学校の児童から石原慎太郎東京都知事、大島理森文部大臣まで「おっはー」。新しい日本語として急速に浸透していく見込みだ。

今回の「おっはー」を始めとして、

「iモード」「貸し渋り」「学級崩壊」など、新たな日本語として加えられる言葉は毎年尽きることはない。その分「チョベリグ」「冗談はよしてちゃん」のように「死語」として消滅する言葉も多いが、「流行語大賞」や「今年の世相を表す漢字」が注目されるように、日本人が言葉に敏感なのは確かだ。

大野晋は著書「日本語練習帳」で、

## 造語も立派な日本語である

言葉は「天然自然に通じるものではなくて、相手にわかってもらえるよう努力して表現することから生まれるとする。どうすれば相手に上手く伝えることができるか。どう表現すれば相手に気持ちよく聞いてもらえるのか。ユーモアやセンスのある表現とは何か——それを考え抜いた

末、生まれてくるものが言葉だという。言葉には相手とのコミュニケーションをもっと上手に図りたいという意図が込められているのだ。

そう考えると造語が無尽蔵に作られ、日本語の語彙を増やしていく背景には、私たちが他人とどうコミュニケーションを取っていくかを考えてきた結果があるということになる。つまり、次々生まれてくる言葉

には日本人の並々ならぬ「言葉によるコミュニケーション」へのこだわりがあるのだ。

にもかかわらず、新しい言葉に対して「日本語が乱れている」だの「日本語の崩壊」だのと抵抗感を示す人々も少なくない。だが、とりあえず元気に「おっはー」と言ってみる。親指と人差し指でわかを作って、手を前に出して——これも立派な言葉によるコミュニケーションであることに納得がいくはずである。(藤田あかり)

"Ask not what your country can do for you --ask what you can do for your country."

「国家があなたに対して何をし得るかではなく、あなたが国家に対して何をなし得るかを問うてほしい」  
——ジョン・F・ケネディ(1961)



### 京都経済新聞社

600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町1  
京都リサーチパーク4号館  
TEL 075-316-1000 FAX 075-315-8935  
http://www.kyoto-keizai.co.jp

自分の頭で考えて行動する人のための新聞

# 週刊京都経済

# 月曜 インタビュー

20世紀最後の年の最後の四半期に人間型ロボットの商品化が相次いでいる。自動車メーカーの本田技研工業が先鞭を切り、すかさず家電・情報機器メーカーのソニーが追った。そして3番手として、関西学研都市に本拠を置く「ATR」が名乗りを上げた。人間型ロボットの商品化にはどんな意味があるのか、21世紀の人間社会にどんなインパクトを与えるのか。ロボットプロジェクトを陣頭指揮するATR 知能映像通信研究所社長の中津良平さんに聞く。(1面参照=聞き手は本紙編集長・築地達郎)

■「ロボビー」を発表したのが8月。それから数ヶ月で一気に商品化が決まりました。

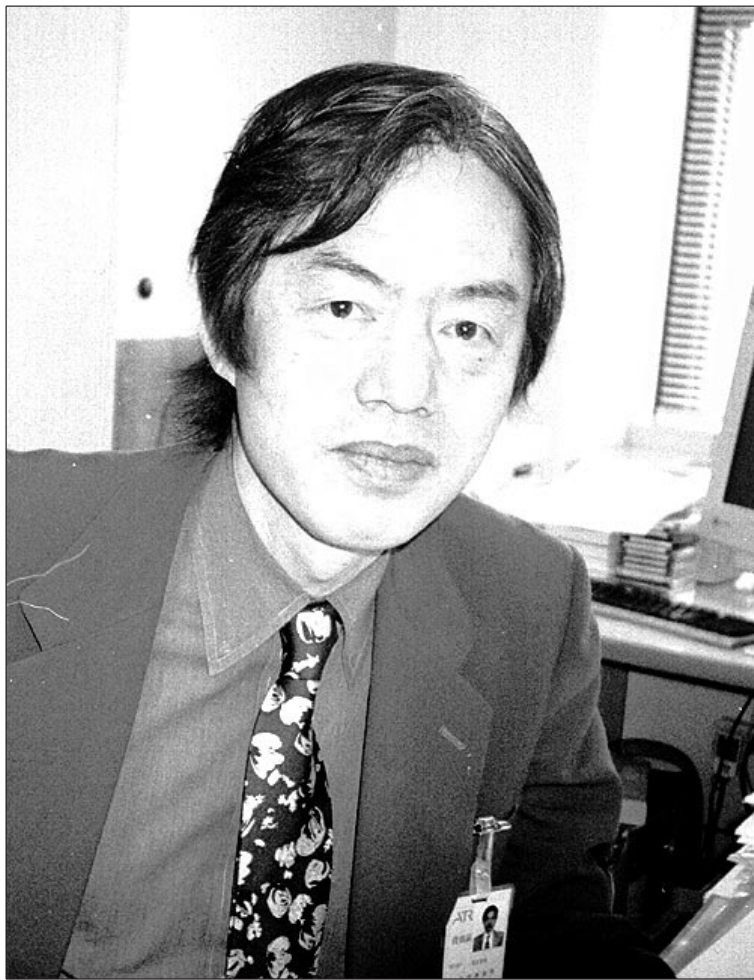
「抱きつくのがあんなに受けるとは(笑)。人間同士のコミュニケーションにジェスチャーを入れることの意味が、ロボットによって実証されたという感じですね。

■ホンダやソニーが相次いで人間型ロボットの商品化を表明しています。

「ソニーは犬や人間の動作や形、ホンダは人間の二本足歩行の再現——と、基本的に動作をいかに高めるかが開発の原動力になっています。それに対してわれわれの開発は外見や動作よりもコミュニケーション能力や振る舞いの人間らしさを重視しました。より総合的な開発だと思っています。

「われわれの今までの研究は音声認識が中心だったのですが、ここへきて人工知能(AI)とロボットを融合させることによって“ジェスチャー”表現の重要性に着目するようになりました。(持つ、運ぶといった)機能に加えてジェスチャーを入れることで一挙に人間くささが出てくる。

「もちろんソニーやホンダのロボットも人間らしさを醸し出そうとしているのですが、あくまで直感ベース。それに対してわれわれは人間のコミュニケーションに関する理論がベースになっていますから、今後の発展余地があります。テーマを分解して研究開発を行ったものを再度統合して製品に結びつけたという意味で、いかにも(官民出資の株式会社である)ATRらしい結果だと思います。



中津 良平(なかつ・りょうへい) 京都大学大学院修士課程修了後、1971年にNTTに入社。音声認識技術の研究に携わる。82年に京大から博士号取得。94年、ATRに新設された知能映像通信研究所社長に就任。

■ロボットの人間くささの“セオリー”とは。

「まず外観。これはCG(コンピューターグラフィック)の世界ですね。でもパーチャルアイドルのリアルさを追求しようとすればするほど小さな“人工”が気になるように、外観のリアルさだけでは人間くさくならない。

ということが研究の結果分かりましたね。人間社会にとけ込んでいくためには、どこか“抜けている”存在であることが大切です。

■「身体性」は認知科学の分野でも話題になってますね。

## 「抱きつくロボット」がこんなに受ける

人間型ロボットの商品化に乗り出したATR 知能映像通信研究所社長 中津良平さん

成果が表れたのは珍しいと思う。異なる領域の研究が融合した成功例といえるでしょうね。年間2000万円の研究費を投入し、これまでに2体を開発しました。

■人間型ロボットの用途はどうか?

「当面は研究機関での実験用が主体でしょうね。いままでに関西と首都圏からそれぞれ1体の引き合いがある。増えていくと思います。

「今後は、コンピューターエージェント(ネットワーク上でユーザーのリクエストに応じて作業を代行するソフトウェア)をロボット化するような方向で実用化が進むと思います。具体的に考えれば、案内役や盲導犬、高齢者用の連れ合いロボットなど。『アシモフの3原則』は原始的な形では入れ

人間にとって大きな意味を持つていくことが分かってきた。そうしたときにたまたま京大の石黒浩先生(大学院情報科学研究科助教授=和歌山大学助教授兼任)と出会い、双方の30歳代の学者・研究者5名でプロジェクトを組んで研究を始めたんです。

「研究を始めて約1年であそこまで

込んであります。

「手塚治虫の『アトム』に代表されるようにロボットはかつて力や知恵の象徴でしたが、いよいよ“人間社会を裏で支える役目”が見えてきたと思えますね。

### アイザック・アシモフの「ロボット工学3原則」

第1条: ロボットは、人間に危害を加えてはならない。また、人間に危害が及ぶのを見過ごしてはならない。

第2条: 第1条に抵触しない限りにおいて、ロボットは人間の命令に服従しなければならない。

第3条: ロボットは自身の身を守らなければならない。ただし、第1条、第2条に反する場合は、この限りではない。

### 一期一会

ATRは国策の研究会社として、また学研都市のかなめとして、1986年に設立された。以来、音声認識や自動翻訳などの分野でさまざまな功績を上げてきたが、ATRブランドで販売されるような研究成果はこれまでになかった。今回のロボット商品化はATRのみならず、学研都市がビジネス都市としての機能を持ち始めていくエポックになるかもしれない。

その立て役者は、研究者らしからぬ風情の持ち主だ。茶髪に太めのネクタイ。彼の回りには情報通信の専門家だけでなく、アーティストや心理学者が集まってくる。

ポップアートが乱雑に散らばる研究室では、ラップ音楽によるコミュニケーションの研究が行われている。全般に無機質な雰囲気学の学研都市内で、ここだけは空気の色が違う。

中津氏は別れ際、「これからも研究所の枠をはみ出てどんどんやりますよ」と片目をつぶって見せた。

ローカルな視点から  
グローバルな視野を

自宅へ、オフィスへ  
直接配達

◆お申し込みは簡単です◆  
FAXで

この用紙を切り取り、送信してください。

075-315-8935

フリーダイヤルで

受付時間: 11時~21時

0120-385-036

### 『週刊京都経済』購読申込書

お申込日 月 日

株式会社京都経済新聞社 行

下記のとおり『週刊京都経済』を 月 日より 部購読します。

お支払い方法 / ①月極 定価1,900円(税別)

②年間契約 定価21,000円(税別)

■お名前・会社名 \_\_\_\_\_

■(部署名・担当者名) \_\_\_\_\_

■ご住所 〒 \_\_\_\_\_

■電話 \_\_\_\_\_ ■FAX \_\_\_\_\_